



# 精華町男女共同参画に関する意識・実態調査



## ◆ご協力のお願い◆

精華町の皆様には、日頃から町行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

精華町では、平成27年度に精華町第2次男女共同参画計画を策定し、男女共同参画の実現に取り組んできました。

このたび、現行の計画が計画期間満了を迎えることから、「精華町第3次男女共同参画計画」の策定にあたり、施策に町民意識を反映させることを目的として、男女共同参画に関するアンケート調査を実施することとしました。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年 月

精 華 町

## ご回答にあたってのお願い

### ◇ 本調査について

- 1 この調査は、16歳以上の精華町民のみなさまの中から無作為に2,000人の方を選び、調査票をお送りしています。
- 2 この調査は無記名でお答えいただきますので、回答内容についてあなた自身にご迷惑をおかけすることはありません。
- 3 この調査は、上記の目的以外に使用することはありません。

### ◇ ご記入にあたって

- 1 あて名のご本人が、お答えください。
- 2 ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて封をし、**令和5年 月 日( )**までにお近くの郵便ポストに入れてください。切手はいりません。また、差出人の記載も不要です。

◎回答はパソコン・スマートフォン等でも可能です。

右記QRコードまたは下記URLよりご回答ください。

URL:https://

二次元  
コード

※専用サイトへのログインの際には、次のID・パスワードを入力してください。

◇ID

◇パスワード

\*ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】**精華町役場 住民部 人権啓発課**

電話 :0774-95-1919

FAX :0774-95-3974

e-mail:jinken@town.seika.lg.jp

**男女共同参画社会とは・・・(基本法第2条より抜粋)**

男女が、社会の対等な構成員として、

- ①社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、
- ②政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、
- ③共に責任を担うべき社会

# 1 あなた自身のことについて

問 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- |       |       |        |           |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問 2 あなたの年齢をお答えください。(記入日時点、○は1つ)

- |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 16～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 |          |

問 3 あなたの婚姻状況をお答えください。(○は1つ)

- |       |                  |                    |
|-------|------------------|--------------------|
| 1. 未婚 | 2. 結婚している(事実婚含む) | 3. 結婚したが、離婚または死別した |
|-------|------------------|--------------------|

問 4 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. ひとり暮らし              | 5. 自分と子と孫(3世代世帯)   |
| 2. 自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー | 6. 親と自分と子(3世代世帯)   |
| 3. 自分と子(2世代世帯)         | 7. 祖父母と親と自分(3世代世帯) |
| 4. 自分と親(2世代世帯)         | 8. その他(具体的に )      |

問 5 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問5で「1. いる」と答えられた方にお聞きします。

問 6 一番下のお子さんの年代は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- |         |                |         |
|---------|----------------|---------|
| 1. 未就学児 | 3. 中学生・高校生・大学生 | 5. その他  |
| 2. 小学生  | 4. 社会人         | (具体的に ) |

問 7 あなたとあなたの配偶者・パートナーの職業は次のどれにあたりますか。(○はそれぞれ1つ)

あなた	配偶者・パートナー(いる方のみご回答ください)
1. 正社員・正職員	1. 正社員・正職員
2. 非正規社員・非正規職員 (パート、アルバイト、契約社員、派遣社員等)	2. 非正規社員・非正規職員 (パート、アルバイト、契約社員、派遣社員等)
3. 自営業	3. 自営業
4. その他(具体的に )	4. その他(具体的に )
5. 学生	5. 学生
6. 家事専業(主婦・主夫)	6. 家事専業(主婦・主夫)
7. 無職(年金暮らし含む)	7. 無職(年金暮らし含む)

問 8 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。(○は1つ)

とても  
不幸

とても  
幸せ

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

## 2 男女の役割や地位に関する意識について

問 9 社会全体をみて、男女平等はどの程度達成されていると思いますか。(○は1つ)

1. 十分平等になった	4. 全然平等になっていない
2. ある程度平等になった	5. わからない
3. あまり平等になっていない	

問10 次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

	男性が優遇 されている	どちらかといえば 男性が優遇 されている	平等である	どちらかといえば 女性が優遇 されている	女性が優遇 されている	わからない
① 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
② 職場で	1	2	3	4	5	6
③ 町内会や地域活動で	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育で	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・習慣・しきたりで	1	2	3	4	5	6

現在、ひとり暮らしの方以外にお聞きします。

問11 次のような家庭の仕事は、どなたが担当されていますか。(それぞれ○は1つ)

	主に自分	パートナー 主に配偶者	夫婦同程度	家族で協力	その他
① 食事のしたく	1	2	3	4	5
② 食事の片づけ	1	2	3	4	5
③ 洗濯	1	2	3	4	5
④ 掃除	1	2	3	4	5
⑤ 日常の買い物	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの世話	1	2	3	4	5
⑦ 介護の必要な高齢者・病人の世話	1	2	3	4	5
⑧ 地域の活動、自治会やPTA	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの学校の活動・行事	1	2	3	4	5

問12 次にあげることがらについて、どう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。

(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
① 男は外で働き、女性は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
② 女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児も女性がすべきである	1	2	3	4	5
③ 子育ては主に母親の役割である	1	2	3	4	5
④ 女性は職業をもたない方がよい	1	2	3	4	5
⑤ 親の介護は、息子よりも娘か息子の嫁がするのがよい	1	2	3	4	5
⑥ 自治会長などの地域の役員のトップには男性になる方がよい	1	2	3	4	5
⑦ 希望する人には夫婦別姓を認めてもよい	1	2	3	4	5

### 3 子どもの教育について

問13 男女平等を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。(○はいくつでも)

1. 学校生活の中で、性別による役割分担をなくす  
(性別による役割分担の例:リーダー的役割は男子で、女子は補佐役など)
2. 進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 男女平等の意識を育てる授業をする
4. 命の大切さや性の多様性など人権尊重の視点に立った性教育を充実させる
5. 男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う
6. 校長や教頭に女性を増やしていく
7. 保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す
8. その他(具体的に )
9. 学校教育の中でする必要はない

## 4 地域活動について

問14 自治会長や区長などの地域の役職についておたずねします。

【女性の方に】もしあなたが推薦されたらどうしますか。(○は1つ)

【男性の方に】妻などの身近な女性が推薦されたらどうしますか。(○は1つ)

1. 引き受ける(引き受けることをすすめる)

2. 引き受けない(断ることをすすめる)

【問14で「2. 引き受けない(断ることをすすめる)」と答えられた方にお聞きします。】

問15 引き受けない(断ることをすすめる)理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 責任が重いから

6. 人間関係がわずらわしいから

2. 役職につく知識や経験がないから

7. 家族の協力が得られないから

3. 家事・育児や介護に支障がでるから

8. 女性が役職に就くことを快く思わない社会通念があるから

4. 当人の職業生活に支障がでるから

9. 女性には向いていないから

5. こうした役職などに興味がないから

10. その他(具体的に )

問16 各種の地域活動(自治会や、PTAボランティアなど)において、女性役員が増えたほうがよいと思いますか。(○は1つ)

1. 十分に多い

2. 現状のままで良い

3. もう少し増えた方が良い

【問16で「3. もう少し増えた方が良い」と答えられた方にお聞きします。】

問17 各種の地域活動(自治会やPTA、ボランティアなど)において、女性の役員が増えるために効果的だと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

1. 女性のリーダー研修

6. 性別にとらわれない組織運営のみなおし

2. 地域で開催する男女共同参画についての研修

7. その他(具体的に )

3. 女性の役職者が増えるように働きかける

8. 特に必要ない

4. 女性の活動を支援する組織や連携づくり

5. 男女共同参画を推進した団体や個人の活動の紹介

## 5 男女間の暴力・人権尊重について

問18 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ、性的いやがらせ)について経験したり、見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも)

- |                              |                    |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 直接経験したことがある               | 3. 知識として知っている      |
| 2. 友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した人がいる | 4. 言葉としては聞いたことがある  |
|                              | 5. そういう言葉は聞いたことがない |

問18で「1. 直接経験したことがある」、「2. 友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した人がいる」と答えられた方にお聞きします。

問19 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けた、または他人がされているのを見たとき、どのような対応をしましたか。(○はいくつでも)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. セクシュアル・ハラスメントを行った相手に抗議した        |
| 2. 家族や身近な人、友人に相談した                 |
| 3. 公的な相談機関(町の相談窓口、府女性相談センター等)に相談した |
| 4. 勤め先の担当者に相談した                    |
| 5. 警察等に訴えた                         |
| 6. その他(具体的に )                      |
| 7. 何もできなかった                        |

問20 あなたは性別によってつらいと感じることがありますか。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問20で「1. ある」と答えられた方にお聞きします。

問21 それはどんなことですか。(○はいくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 「男／女なのに」「男／女のくせに」と固定観念で言われる      |
| 2. 妻子を養うのは男の役割／家庭・育児をするのは女の役割だといわれる |
| 3. 家事や育児をすること／仕事をするに対する偏見をもたれる      |
| 4. 仕事／家事・育児により、暮らしに余裕がなく、自分の時間が持てない |
| 5. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある           |
| 6. 衣食住のことが十分にできなくて、生活が不便である         |
| 7. 家族とのコミュニケーションがうまくいかない            |
| 8. その他(具体的に )                       |

問22 あなたは、下記の①～⑤の行為が暴力だと思いますか。また、これまでに配偶者・パートナーや交際相手から、次の行為を受けたことがありますか。(それぞれ○は1つ)

	(1)暴力だと思うか			(2)配偶者・パートナー、交際相手から受けた経験		
	そう思う	そうは 思わない	わからない	ある 日常的に	あった 過去に何回か	まったく ない
① なぐる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する行為	1	2	3	1	2	3
② 生活費を渡さない、金品を要求する、デート代を毎回払わせるなど経済的に困らせる行為	1	2	3	1	2	3
③ 人格を否定するようなことを言ったり、長時間無視する、なぐるふりをして脅す、などの行為	1	2	3	1	2	3
④ 家族や友人に会わせない、行動を監視・制限する、大量のメッセージを送る、SNSの履歴をチェックするなどの行為	1	2	3	1	2	3
⑤ いやがっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなどの性的な行為	1	2	3	1	2	3

問22の(2)で1つでも「日常的にある」、「過去に何回かあった」と答えられた方にお聞きします。

問23 それらの行為を受けたあと、誰かに相談しましたか。(○は1つ)

1. 相談した	2. 相談しなかった →問25へ
---------	------------------

問23で「1. 相談した」と答えられた方にお聞きします。

問24 それは誰(どこ)に相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 親、祖父母、兄弟姉妹、親族	8. 法務局
2. 友人、知人	9. 警察
3. 学校関係者	10. NPO等民間の相談窓口
4. 医療関係者(医師・看護師など)	11. SNSに書き込むなどネットに発信した
5. 町役場の相談窓口	12. その他
6. 配偶者暴力相談支援センター	(具体的に )
7. 京都府男女共同参画センターらら京都	

問23で「2. 相談しなかった」と答えられた方にお聞きします。

問25 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

- |                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 誰(どこ)に相談してよいかわからなかった            | 6. 自分にも非があると思った      |
| 2. 誰(どこ)に相談しても無駄だと思った              | 7. 自分のための好意的な行為だと思った |
| 3. 恥ずかしくて誰にも言えなかった                 | 8. 相談するほどのことではないと思った |
| 4. 自分さえ我慢すればよいと思った                 | 9. その他(具体的に )        |
| 5. 相談したことが相手(恋人)に知られると怖くて、何もできなかった |                      |

問26 DV(ドメスティック・バイオレンス)防止に向けて、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1. 被害者が援助を求めやすくするため、情報提供体制を充実させる |  |
| 2. 家庭・学校における人権やDVについての教育を充実させる   |  |
| 3. 被害者が家庭内のことを打ち明けられる相談体制を整備する   |  |
| 4. 加害者に対するカウンセリングやサポートを充実させる     |  |
| 5. 被害から逃れるための一時保護施設を設ける          |  |
| 6. 被害者自身がDVを受けていると認識できる仕組みづくり    |  |
| 7. その他(具体的に )                    |  |
| 8. 特にない                          |  |

## 6 ワーク・ライフ・バランス・女性活躍について

問27 あなたの生活の中での、「仕事」、「家庭」、「地域・個人の生活」について、あなたの①希望と②現実(現状)にあてはまるものは次のどれにあたりますか。(それぞれ〇は1つ)

【 ①希望 】	【 ②現実(現状) 】
1. 「仕事」を優先したい	1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい	2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」「家庭生活」をともに優先したい	4. 「仕事」「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」「地域・個人の生活」をともに優先したい	5. 「仕事」「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先したい	6. 「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のいずれも優先したい	7. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のいずれも優先したい
8. わからない	8. わからない



問28 あなたは、男女が共に働きやすい職場をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○はいくつでも)

1. 育児休業・介護休業制度の整備
2. 育児休業・介護休業を取りやすい職場の雰囲気の醸成
3. テレワークやフレックスタイム制度などの、多様・柔軟な働き方の整備
4. 上司や同僚等の理解・協力
5. 賃金や昇格、復帰後の仕事の保障
6. 育児休業・介護休業の取得がマイナスにならない人事評価制度の確立
7. 休業者をカバーできる人員体制の整備
8. 育児休業・介護休業取得に対する周囲の人の理解
9. 「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識の解消
10. 担当業務をスムーズに引継ぎができる体制づくり
11. その他(具体的に )
12. 特にない

問29 今後、男女ともに、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加し、主体的に関わっていくためには、  
どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどを改めること
2. 学校教育や生涯学習の場において、男女共同参画について学習を充実すること
3. 男女ともに家事などができるような能力を身につけること
4. 行政や民間、地域社会などにおける政策・方針決定の場に女性を積極的に登用すること
5. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
6. まわりの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重すること
7. 活動を支援するネットワークづくりを進めること
8. その他(具体的に )
9. 特に必要なことはない

## 7 防災について

問30 あなたは、地域の防災(災害対応)活動を推進するにあたり、今後、どのような取組を強化すべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 地域の自主防災組織等への女性の参画を増やす
2. 町の防災会議や危機管理担当部署等への女性の参画を増やす
3. 日頃から防災訓練や防災知識の習得の場などに男女が共に参加しやすくする
4. 女性消防団員を確保、育成する
5. 地域における女性の防災リーダーを増やす
6. 避難所の運営に女性の参画を増やす
7. その他(具体的に )
8. 特にない

## 8 町の取り組みについて

問31 あなたが普段利用している情報通信機器は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. スマートフォン	3. タブレット端末	5. 携帯電話(ガラケー)
2. パソコン	4. テレビ	6. その他( )

問32 町が行っている男女共同参画に関する以下の広報・啓発を知っていますか。(それぞれ○は1つ)

	言葉も内容も 知っている	聞いた ことはある	知らない
① DV防止啓発冊子	1	2	3
② みんなのための語らい場『こいこ広場』	1	2	3
③ 男女共同参画ミニ通信	1	2	3
④ 精華町こころの相談室	1	2	3
⑤ 精華町男女共同参画計画	1	2	3

問32で1つでも「3. 知らない」と答えられた方にお聞きします。

問33 どうすれば知ってもらえると思いますか。(○はいくつでも)

1. SNS 等を使った発信を充実させる
2. イラストや漫画等を多く使った親しみやすい内容にする
3. YouTube のショート動画等で簡単に概要を知ることができる広報を充実させる
4. 駅やショッピングモールなど、目につきやすい場所へ広報を拡大する
5. その他(具体的に )

町が行っている広報・啓発については下記二次元コードからもご確認いただけます。



問34 あなたは、男女共同参画社会を実現するための精華町の取り組みとして、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 講演会や講座等の開催など啓発活動の推進                 |   |
| 2. 相談窓口の設置と積極的な窓口の周知                   |   |
| 3. あらゆる分野における女性の積極的な登用、政策決定の場への参画促進    |   |
| 4. 育児・介護などに対する負担を軽減するような施設・サービスの充実     |   |
| 5. ワーク・ライフ・バランスに関する施策の充実               |   |
| 6. キャリアアップ、起業、就業訓練、相談や再就職支援の充実         |   |
| 7. 生涯を通じた健康支援                          |   |
| 8. あらゆる暴力の被害者に対するケア体制の充実               |   |
| 9. 性的少数者(LGBTQ等)を含め、あらゆる差別の根絶を目指す条例の整備 |   |
| 10. その他(具体的に                           | ) |
| 11. 何もする必要はない                          |   |
| 12. わからない                              |   |

問35 精華町がこれから男女共同参画を実現するために、ご意見等をお聞かせください。


質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて封をし、  月   日( )までに、  
お近くの郵便ポストに入れてください。